



校長室だより

月立小学校 校長 村上克弥
令和2年10月29日
☎55-2260 第5号

教育目標

ふるさとに誇りをもち
夢と希望に満ちた
心豊かでたくましい児童の育成



この頃思うこと（マイクロプラスチックゴミ）

先日、コンビニで買い物をし、レジで精算していると店員さんに「袋は必要ですか」と、問われました。そうか「レジ袋は有料だったなあ」と、思い「いりません」と、きっぱり断ったのでした。しかし、後から考えてみると暖めた弁当などはレジ袋の代わりになるものがないと大変なのだと思います。日頃生活に便利になって当たり前と思っていたレジ袋の使用について考えさせられる場面でした。

さて、皆さんはマイクロプラスチックゴミについてご存じでしょうか。昨年自然保護基金ジャパン(WWF)の方と海のごみ問題に取り組む一般社団法人「JEAN」(東京都国分寺市)の小島あずささん(事務局長)のお話を聞く機会がありました。その中で「市街地に散乱したごみが川を経由して海の環境を壊している。みんなの問題として考えてほしい」と訴えておられました。

小島さんは元々広告制作会社でスタイリストをされていたのですが、地球環境に関わるきっかけというのは、「引っ越しして犬を飼い始め、散歩している時に街に落ちているゴミが気になって、それを拾うとしたのがきっかけなそうです。この団体は“海のごみ問題の解決”という限定された地域での活動ですが、小島さんは海に興味があったのではなく、マリンスポーツをするわけでも海辺育ちでもない人ですが、街で出たゴミはゆくゆくは海に行くというのを知ったからと言うことでした。海岸で一番問題になるゴミは、「自然に戻らないゴミ、プラスチックやタバコの吸い殻です」と話されていました。

「海洋生物への影響」について小島さんは「ゴミが野生生物に引っかかってしまうということと、間違えて飲み込んでしまうという問題があります。例えばプラスチックなどを飲み込んでしまうと消化も排泄もされず、それが繰り返されることでゴミでお腹がいっぱいになってしまい、必要な栄養がとれなくなる」とおっしゃっていました。その話を聞いて私の大好きな海のもの、「魚(さんま、鯉、マグロなど)とか貝とか私達の食卓に上りますから、周り回って私達の口に入る」と恐ろしくなりました。小島さんは「今のうちに何とかしなくてはいけない」と思い日本中の河川や海のごみを調べ全世界にデータを送信しているそうです。

昨年、小島さんと一緒に大島の田中浜でゴミの調査をしました。漁網、漁具、たばこの吸い殻、瓶、空き缶、ペットボトル、ビニール袋、カップ容器、タイヤ、プラスチックの破片、ガラスの破片、発泡スチロール、枯れ木等々。そして、5ミリ以下の砂に混じったマイクロプラスチックを発見しました。これらのゴミは、地域から出たゴミばかりではありません。日本のどこからか、遠く外国から流れ着いた物なのです。この時私は、このきれいな砂浜にもマイクロプラスチックゴミがあり、人間だけでなく、多くの生物に及ぼしている現実を目の当たりにしたのでした。この時は、絶対ゴミにならない工夫をしなければと思っていたものの「のど元過ぎればなんとやら」で冒頭で述べたとおり、コンビニでのレジ袋使用について考えさせられている自分がいたのでした。地球の環境問題については、自分一人が何かするとしたならば、なかなかできないことが多いです。しかし一人また一人と増えることで、この環境問題も改善されていくと思われれます。

「あの時代はよかった」と、思うこの頃ですが、豊かな自然を後生につなぐことこそが我々の使命だと思うのです。

月立小学校の教育目標は「ふるさとに誇りをもち、夢と希望に満ちた、心豊かでたくましい児童の育成」を掲げています。自分のふるさとのすばらしさを知ることで、地球全体を感じられる子供たちが育つよう、そして、後生につなげるために一番必要としている地球環境についてしっかりと伝えていかなければならないと思っています。

今年もJEANの事務局長小島さんとお会いする機会があります。今回も小島さんと一緒に田中浜でゴミ拾いをしながらゴミの調査をする予定です。気仙沼市は海洋教育に力を注いでいます。多くの教員が参加することでこの地球環境について授業づくりに生かしてほしいと思っています。また、新たな発見があったなら皆さんにお伝えしようと思います。

※マイクロプラスチックゴミとは

プラスチックと言えばペットボトルなどの容器など軽くてある程度形が決まっているものが一般的ですが、細かい粒の状態でも使っているものもあり、どのような形にでもできるのがプラスチックの特徴です。

例えば歯磨き粉や洗顔剤が挙げられますが、これらの中にも含まれるスクラブも細かくなったプラスチックです。このように微細な状態のプラスチックで海洋ごみに含まれているものをマイクロプラスチックと言い、厳密には5mm以下のプラスチックごみのこととなります。

